

事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 山田 益 幹事 唐澤幸利 会報委員長本田敏和 第3003回 例会2023.9.28 No.1664



世界に希望を生み出そう

2023-24 年度 RI テーマ

CREATE HOPE
In the WORLD

ガバナー公式訪問

ソング それでこそロータリー
ビジター・ゲスト紹介

RI 第 2600 地区ガバナー 折井正明様

RI 第 2600 地区幹事 渡辺 聡様

松本ロータリークラブ 米山威久様

会長談話 山田 益会長

「私の人生観」

私は大学卒業後、4年間トヨタ系のボディ会社で設計をしていましたが、父の要請で父が名古屋で創業し戦後宮田村に移住した会社に入社しました。会社はオリンパスや辰野の石川島などから精密機械部品加工を受注し生業としていました。そして入社 10 年後昭和 56 年、当時の年間売り上げ 2 割ほどの予算で機械工場を建設しました。完成竣工式にあたってメインバンクの支店長さんからこれからの思いを込めて「社是」を決めなさいと言われてました。その「社是」は「誠心誠意」「相互信頼」「積極挑戦」としました。父に揮毫してもらい掲げてあります。

会社は昭和 35 年頃より造船、製鉄所、化学工業プラント向けタービンブレードの加工を手掛けてきましたが、その後国内電力機器メーカー、東芝、三菱重工業、日立と、海外は米国 GE との直接取引などタービンブレードメーカーとしては中小企業としては国内最大手となりました。常に納期、品質、価格は大変厳しいわけですが、全ての面で「社是」が大きな意味を持っていると思っています。

そして入社 50 年を過ぎていますが私の「信条(1)」は、「情け(親切)は人の為ならず」という考えです。人にかけての情け(親切)は、巡り巡

って結局自分のためになるという事です。ただ最近では反対語の意味に思っている若者が多いと聞きます。英語では「Today you, tomorrow me」今日のあなたは明日の私となります。

私の会社のやった事ですが、4年前北陸電力の七尾大田火力発電所の 70 万 Kw のタービンブレードが突然破断してストップしてしまいました。東芝の要請でしたが、冬の電力需要期に大変な事になってしまい 7 月初旬材料投入、8 月末に完成してほしいとの事でした。長さ 600mm、数量 300 個です。通常ですと 3~4 か月必要です。社員全員で考え 7 月末の夏休み無し、お盆休暇全て出勤として機械もフル稼働で何とか 8 月末に納品することが出来ました。この事は北陸電力や東芝に大変喜んでもらい地域の人たちも電力制限がなく大変良いことが出来たと思っています。更にこの実績が「火力原子力発電技術協会」発行の協会誌の巻頭言に北陸電力の担当常務が書いてくれましたので、東芝以外のメーカーから大変褒められました。

私の「信条(2)」は、「与えて思わず、受けて忘れず」です。仏教経典には「かけた情けは水に流せ、受けた恩は石に刻め」と有るようです。私は 40 年以上前にある政治家の講演会で聞きました。「ああそうだな」と思いつつも心に留めています。私は今日まで大変多くの方々にお世話になってきましたが、これから先にどのように恩返し出来るのか思いが十分行かないのがまずいと思っています。

幹事報告 別紙をご覧ください

委員会報告 職場訪問例会について

唐澤洋祐職業・社会奉仕副委員長より、10月12日(木)に開催される職場訪問例会について、説明

がされた。

日 時 2023年10月12日(木)12:00点鐘
例会会場 伊那食品工業㈱「さつき亭」
見学施設 モンテリイナ

出席報告 会員数 57名 内出席免除者 20名
出席者 34名 事前メーキャップ0名 出席率77.30%

ニコニコボックス

- ・渡辺 聡様、米山威久様 本日はよろしくお願
い致します。
- ・山田 益、唐澤幸利 ゲストの皆様、ようこそ
伊那クラブへお越し下さいました。
- ・中川博司 折井ガバナーようこそ伊那クラブへ。
- ・塚越 寛 ゴルフコンペ等、楽しくさせていた
だいています。
- ・赤羽弘之 折井ガバナーよろしくお願
い致します。
- ・ゴルフ部上位入賞者

ガバナー紹介 山田 益会長

昭和32年7月生まれの現在65歳です。勤務先は
長野三菱電気機器販売㈱で、杏林大学講師、小田
原女子短期大学の講師も務められています。趣
味はゴルフ・ウォーキング・スキー・ワイン・ド
ライブと大変アクティブな方です。

ガバナー講話 折井正明ガバナー

私が当地区本年度のガバナーとし
て地区標語を Lets send out the joy
of Rotary in action, hand in hand!
「手をつなぎ行動するロータリーの
喜びを発信しよう！」としましたの
は、私たちが三年も続いたコロナ禍で多くの苦し
みや会員減少の痛みを経験する中、今こそマッキ
ナリー RI 会長と気持ちを一つにして、持続可能
な良い変化をもたらすために手を取り合い、共に



行動することの喜びを実感し、またそのことを世
の中に発信することが大切だと考えたからです。
そしてその行動とは、過去35年の長きにわたり
国際ロータリーが世界の先駆けとして展開して
きた、ポリオ根絶活動が最もふさわしいと思いま
した。

私たちがその意味を改めて振り返り、2026年
のポリオ根絶宣言を目指して、最後のカウントダ
ウンに自らがコミットすることを通じ、ロータリ
ーとは一体、何をしてきたどのような団体なのか
を改めて身をもって経験することで、私たちのロ
ータリアンとしてのアイデンティティを再認
識することが、まさに今なすべき継続と前進に他
ならないと思えたからであります。

地区の基本方針を「ロータリー行動計画をポリ
オ根絶活動を通じて地区全体として明確に実現
する」とし、新年度の重点目標を「あと一歩まで
来たポリオ根絶のために私たちは行動する」と屋
上屋を重ねるが如くに強調をいたしました理由
はそこにあります。

世界のいたる所で軋みが生じ、多くの社会で分
断や格差や不幸があからさまになって、助けを必
要としている人々がどこにでもいる現在、特にロ
ータリー発祥の地である米国の社会状況を見る
につけても、ロータリーという普遍性に優れた中
核的価値を有する民間団体が先達となって DEI
(多様性・公平性・インクルージョン)を叫ぶこ
とには必然性があると思います。私たちはロータ
リーという世界中の素晴らしい仲間からなる世
界的な団体のフェローとして、その一員であるこ
との価値と重みを実感しつつ楽しみ、よろこび、
プライドをもって世界に発信する機会に恵まれ
た、そんな一年にすることが出来ればと思います。

